

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第22期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社ロジコム
【英訳名】	Logicom, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 本庄 良一
【本店の所在の場所】	東京都東大和市向原一丁目3番地21
【電話番号】	042(565)2111（代表）
【事務連絡者氏名】	管理部 総務セクション チーフマネージャー 中村 真一
【最寄りの連絡場所】	東京都東大和市向原一丁目3番地21
【電話番号】	042(565)2111（代表）
【事務連絡者氏名】	管理部 総務セクション チーフマネージャー 中村 真一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第21期 第2四半期 連結累計期間	第22期 第2四半期 連結累計期間	第21期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	3,158,970	3,030,462	7,420,091
経常利益 (千円)	62,482	115,195	105,222
四半期(当期)純利益 (千円)	62,494	95,647	136,341
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	65,558	219,032	222,834
純資産額 (千円)	2,495,053	2,847,634	2,652,302
総資産額 (千円)	11,681,495	12,123,719	12,006,000
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	26.39	40.39	57.58
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	21.4	23.3	22.0
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	207,811	219,321	1,446,306
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	139,921	6,333	1,226,404
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	63,494	121,189	94,077
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	449,358	693,819	581,758

回次	第21期 第2四半期 連結会計期間	第22期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	7.33	19.06

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 4 平成24年10月1日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行い、第21期連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、当社の連結子会社であった株式会社ファニチャープランニングが、平成25年7月1日付けで当社を存続会社とする吸収合併により解散したため、連結子会社の対象外となりました。

この結果、平成25年9月30日現在では、当社グループは、当社、子会社5社及び関連会社1社により構成されることとなりました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

なお、当社の連結子会社である株式会社ファニチャープランニングは、平成25年7月1日付で、当社を存続会社とする吸収合併により解散致しました。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や金融政策により、円高から円安への転換や株価の上昇など、景気回復への期待感が高まり、明るい兆しが見られたものの、期待先行による改善が一段落したところで、本格的な景気の回復には不透明感があり、未だ時間がかかると考えられます。

当社グループの連結業績は、賃貸物件の空床率の好調維持、賃借料減額や不採算物件の返還等の売上原価圧縮に努めるなどで、順調に推移しております。

その結果、当社グループの連結業績は売上高3,030,462千円(前年同四半期比4.1%減収)、営業利益210,200千円(前年同四半期比98.2%増益)、経常利益は115,195千円(前年同四半期比84.4%増益)、四半期純利益は95,647千円(前年同四半期比53.0%増益)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、単一のセグメントに変更しております。

(2) 財政状態の分析

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて6.9%増加し、1,248,163千円となりました。これは現金及び預金119,268千円の増加があったこと等によります。

固定資産は前連結会計年度末に比べて0.3%増加し、10,875,555千円となりました。これは長期貸付金44,938千円が減少した一方で、建物及び構築物(純額)23,256千円、土地45,374千円、敷金及び保証金30,319千円の増加があったこと等によります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて1.0%増加し、12,123,719千円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて26.0%減少し、1,625,231千円となりました。これは1年内返済予定の長期借入金32,789千円が増加した一方で、短期借入金552,926千円、繰延税金負債18,936千円が減少したこと等によります。

固定負債は前連結会計年度末に比べて6.9%増加し、7,650,853千円となりました。これは長期預り敷金保証金76,111千円が減少した一方で、長期借入金590,028千円が増加したこと等によります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて0.8%減少し、9,276,084千円となりました。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて7.4%増加し、2,847,634千円となりました。これは利益剰余金71,968千円、為替換算調整勘定114,041千円が増加したこと等によります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による増加219,321千円がありましたが、投資活動による減少6,333千円、財務活動による減少121,189千円があり、当第2四半期連結累計期間末残高は693,819千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれぞれの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は219,321千円であり、前年同四半期と比べ11,510千円の増加となりました。これは主に減価償却費208,625千円、売上債権の増減額14,854千円があった一方、預り敷金及び保証金の増減額88,282千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は6,333千円であり、前年同四半期と比べ113,587千円の増加となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出78,899千円があった一方、貸付金の回収による収入70,512千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は121,189千円であり、前年同四半期と比べ57,694千円の減少となりました。これは主に長期借入れによる収入659,000千円があった一方、短期借入金の純増減額552,926千円、長期借入金の返済による支出190,353千円があったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	5,690,000
計	5,690,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	2,368,000	2,368,000	東京証券取引所 JASDAQ (グロース)	単元株式数100株
計	2,368,000	2,368,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	2,368,000	-	844,188	-	807,127

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
本庄 良一	東京都東大和市	932,800	39.39
青山 英男	東京都世田谷区	86,200	3.64
日本千博株式会社	東京都千代田区有楽町1-9-1	80,000	3.37
黒田 透	島根県松江市	73,000	3.08
本庄 祐司	東京都東大和市	70,000	2.95
高須 隆司	愛知県高浜市	64,700	2.73
株式会社SBI証券	東京都港区六本木1-6-1	56,000	2.36
吉田 廉	大阪府大阪市天王寺区	45,100	1.90
三宅 豊	大阪府交野市	38,600	1.63
倉西 由浩	広島県安芸郡熊野町	27,600	1.16
計	-	1,474,000	62.24

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,367,600	23,676	-
単元未満株式	普通株式 300	-	-
発行済株式総数	2,368,000	-	-
総株主の議決権	-	23,676	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は 名称	所有者の住所	自己名義所有株式 数(株)	他人名義所有株式 数(株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社ロジコム	東京都東大和市向 原一丁目3番地21	110	-	110	0.00
計	-	110	-	110	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、赤坂有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	648,252	767,521
受取手形及び売掛金	45,970	47,914
商品及び製品	2,297	1,194
原材料及び貯蔵品	199	180
繰延税金資産	70,557	51,471
1年内回収予定の長期貸付金	33,825	14,745
その他	369,470	366,373
貸倒引当金	2,828	1,237
流動資産合計	1,167,744	1,248,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,401,096	4,424,352
機械装置及び運搬具(純額)	134,331	125,402
土地	2,625,232	2,670,606
リース資産(純額)	39,291	33,881
建設仮勘定	-	3,150
その他(純額)	7,026	15,174
有形固定資産合計	7,206,978	7,272,568
無形固定資産		
借地権	598,620	580,521
その他	2,742	2,651
無形固定資産合計	601,362	583,172
投資その他の資産		
投資有価証券	11,550	9,799
長期貸付金	67,796	22,857
繰延税金資産	33,386	20,955
敷金及び保証金	2,413,787	2,444,107
投資不動産	86,858	98,907
その他	427,233	432,178
貸倒引当金	10,698	8,990
投資その他の資産合計	3,029,914	3,019,814
固定資産合計	10,838,255	10,875,555
資産合計	12,006,000	12,123,719

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,393	14,877
短期借入金	1,112,916	559,990
1年内返済予定の長期借入金	319,342	352,132
未払法人税等	35,542	25,260
繰延税金負債	18,936	-
賞与引当金	13,959	13,959
リース債務	10,894	9,972
その他	662,674	649,039
流動負債合計	2,196,659	1,625,231
固定負債		
長期借入金	2,979,520	3,569,549
リース債務	30,368	25,612
繰延税金負債	50,199	25,865
資産除去債務	389,174	393,312
長期預り敷金保証金	3,364,644	3,288,533
その他	343,130	347,979
固定負債合計	7,157,038	7,650,853
負債合計	9,353,698	9,276,084
純資産の部		
株主資本		
資本金	844,188	844,188
資本剰余金	807,127	807,127
利益剰余金	1,289,559	1,361,527
自己株式	27	47
株主資本合計	2,940,848	3,012,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	183	257
為替換算調整勘定	299,728	185,687
その他の包括利益累計額合計	299,544	185,430
少数株主持分	10,998	20,268
純資産合計	2,652,302	2,847,634
負債純資産合計	12,006,000	12,123,719

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,158,970	3,030,462
売上原価	2,631,660	2,383,128
売上総利益	527,309	647,334
販売費及び一般管理費	¹ 421,252	¹ 437,134
営業利益	106,056	210,200
営業外収益		
受取利息	5,306	4,959
受取配当金	343	369
違約金収入	9,089	6,049
貸倒引当金戻入額	8,792	3,390
その他	8,750	5,701
営業外収益合計	32,282	20,469
営業外費用		
支払利息	67,834	84,911
資金調達費用	3,583	21,000
株式交付費	230	-
持分法による投資損失	1,405	1,609
その他	2,802	7,952
営業外費用合計	75,856	115,473
経常利益	62,482	115,195
特別利益		
固定資産売却益	-	1,220
関係会社株式売却益	69	-
受取和解金	8,400	4,000
特別利益合計	8,469	5,220
特別損失		
固定資産除却損	302	1,460
投資有価証券評価損	603	-
特別損失合計	906	1,460
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	70,046	118,956
匿名組合損益分配額	14,273	-
税金等調整前四半期純利益	84,319	118,956
法人税等	26,831	14,038
少数株主損益調整前四半期純利益	57,488	104,917
少数株主利益又は少数株主損失()	5,006	9,270
四半期純利益	62,494	95,647

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	57,488	104,917
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	189	73
為替換算調整勘定	7,514	111,455
持分法適用会社に対する持分相当額	366	2,585
その他の包括利益合計	8,070	114,114
四半期包括利益	65,558	219,032
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,565	209,762
少数株主に係る四半期包括利益	5,006	9,270

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	84,319	118,956
減価償却費	183,647	208,625
引当金の増減額(は減少)	3,330	3,299
受取利息及び受取配当金	5,650	5,328
匿名組合投資損益(は益)	14,273	-
支払利息	67,834	84,911
株式交付費	230	280
その他の営業外損益(は益)	3,583	21,000
受取和解金	-	4,000
関係会社株式売却損益(は益)	69	-
投資有価証券評価損益(は益)	603	-
売上債権の増減額(は増加)	71,885	14,854
たな卸資産の増減額(は増加)	1,369	1,122
仕入債務の増減額(は減少)	32,568	9,515
敷金及び保証金の増減額(は増加)	48,027	28,380
預り敷金及び保証金の増減額(は減少)	20,493	88,282
未収消費税等の増減額(は増加)	580	-
その他	25,343	6,866
小計	269,797	317,810
利息及び配当金の受取額	3,961	3,646
利息の支払額	59,506	74,759
和解金の受取額	200	3,400
法人税等の支払額	6,641	30,775
営業活動によるキャッシュ・フロー	207,811	219,321
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	25,043	78,899
有形固定資産の売却による収入	-	1,722
投資有価証券の売却による収入	-	3,164
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	² 52,157	-
貸付けによる支出	73,000	-
貸付金の回収による収入	8,528	70,512
その他	1,751	2,832
投資活動によるキャッシュ・フロー	139,921	6,333
財務活動によるキャッシュ・フロー		
制限付預金の払戻による収入	-	825,778
制限付預金の預入による支出	-	834,231
短期借入金の純増減額(は減少)	168,438	552,926
長期借入れによる収入	188,000	659,000
長期借入金の返済による支出	370,611	190,353
社債の償還による支出	49,000	-
自己株式の取得による支出	-	20
配当金の支払額	-	23,679
ファイナンス・リース債務の返済による支出	2,321	4,755
匿名組合出資者からの払込みによる収入	2,000	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	63,494	121,189
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,428	20,261

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	5,823	112,060
現金及び現金同等物の期首残高	443,534	581,758
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 449,358	¹ 693,819

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった株式会社ファニチャープランニングは、平成25年7月1日付けで当社を存続会社とする吸収合併により解散致しました。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用の計算

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費の内訳

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
貸倒引当金繰入額	6,192千円	-千円
役員報酬	63,768	69,956
給料	119,193	117,814
賞与	3,451	20,190
賞与引当金繰入額	14,577	13,959
退職給付費用	8,898	9,404
福利厚生費	25,323	27,845
賃借料	19,145	17,471
減価償却費	4,708	6,748
支払報酬	21,272	22,039
支払手数料	32,421	37,640
その他	102,299	94,063

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	541,213千円	767,521千円
預入期間が3か月超の定期預金及び定期積金	91,855	50,465
現金及び現金同等物	449,358	693,819

- 2 株式の売却により連結子会社から除外した会社の資産及び負債の主な内訳は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
流動資産	148,529千円	-千円
固定資産	22,348	-
流動負債	218,906	-
固定負債	16,376	-
利益剰余金の増加	64,474	-
国分寺建設㈱の売却価額	69	-
国分寺建設㈱の現金及び現金同等物	52,226	-
差引：国分寺建設㈱の売却による支出	52,157	-

(株主資本等関係)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当 額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	23,679	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産賃貸 関連	建築工事 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,838,001	188,927	3,026,928	132,041	3,158,970	-	3,158,970
セグメント間の内部 売上高又は振替高	36,131	-	36,131	-	36,131	36,131	-
計	2,874,132	188,927	3,063,059	132,041	3,195,101	36,131	3,158,970
セグメント利益 又は損失()	208,029	13,620	194,409	2,455	191,954	85,898	106,056

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プール事業や家具事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額 85,898千円には、セグメント間取引消去 36,131千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 49,766千円が含まれております。全社費用は主に管理部門に係る人件費及び経費であります。
- 3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 4 「建築工事関連」セグメントに属していた国分寺建設(株)については、平成24年6月27日に、当社が保有する国分寺建設(株)の全株式を譲渡したことから、第1四半期連結会計期間末をもって連結の範囲から除外しております。したがって、当第2四半期以降収益の発生がありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

第1四半期連結会計期間より単一のセグメントに変更したため、記載を省略しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「建築工事関連事業」は、その他事業主体であった国分寺建設(株)を前連結会計年度中に売却したことにより、セグメントを削除しております。また、「その他」の区分で記載していたプール事業や家具事業の主体であった(株)ファニチャープランニングは平成25年7月1日付で当社に吸収合併となったため、第1四半期連結会計期間より、事業セグメントを当主体の不動産賃貸関連事業の単一に変更しております。

(企業結合等関係)

(連結子会社の吸収合併)

当社は平成25年5月20日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年7月1日付で、当社100%出資の連結子会社である株式会社ファニチャープランニングを吸収合併しております。

1. 合併の目的

株式会社ファニチャープランニングが行ってまいりました各種事業については当社に統合して継続することとし、当社グループの経営の効率化を図ります。

2. 合併の要旨

合併方式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、株式会社ファニチャープランニングは解散いたしました。

合併に係る割当ての内容

当社100%出資の完全子会社との合併であるため、新株式の発行及び合併対価の交付はありません。

消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

消滅会社である株式会社ファニチャープランニングは、新株予約権及び新株予約権付社債を発行していません。

3. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	26円39銭	40円39銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	62,494	95,647
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	62,494	95,647
普通株式の期中平均株式数(株)	2,368,000	2,367,907

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月11日

株式会社ロジコム
取締役会 御中

赤坂有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 黒 崎 知 岳

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山 本 顕 三

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ロジコムの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ロジコム及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。